



**東京湾のライトアジ仕掛け例**

竿はライトアジ専用竿のほか、1.8メートル前後のゲームロッドなどが扱いやすい。初挑戦なら貸し竿もお手軽だ。仕掛けはトラブルの少ない2本バリがおすすすめ。付けエサはアカタンとアオイソメの両方を用意してくれるから状況に応じて使い分けよう。

ってコマセをまけば確実に食ってくる感じだ。しかも船長の狙いどおり25〜30センチ前後の中型主体だから皆さんの満足度はかなり高いようだ。ただ、釣果がベテランぞろいの右舷に集中しているようで、左舷のオケがちよっぴり寂しい。

それでも次第にコマセが効き始めて群れが船下に着いたのか、左舷もポツポツ上がり始める。貸し竿5人組も船長からタナの取り方や取り込み方を教わり、ほどなくして全

**クロダイ劇場?**

良型が出るポイントを探っているようだが、こちらは顔を見せるもアタリが今一つですぐに移動。

今度は少し走って本牧沖へ。こちらも良型が期待できる定番スポットだ。すでに先着の船が何隻かいて期待も高まる。すぐアジが上がりサイズも先ほどと変わらず大きい。し

▼止まらぬアタリにベテランも夢中になる



かし、ここはゲストのカサゴが多くリリースサイズのダブルが頻発。時期になるとカサゴ船も狙うポイントだから釣れてきて当然なのだが、アジ狙いならタナを少し高めにしたほうが釣りやすそうだ。

朝は船上が凍りつく寒さであったが、日が昇るにつれて防寒着がいらぬほど暖かくなってきた。アジ釣りの条件としては、ピーカンよりは曇天ぐらいがちょうどいいのだが、潮止まりになってもアタリは続いているからアジのご機嫌はいいようだ。

午後からは再び潮が効きだすからまだまだいけそうと思つた矢先、右舷の間の方の竿が大きく曲がり何やら重たそう。横浜沖はヒラメやイナダ、ワラサなどが、ハリに掛かったアジにウバ食いすること

員アジをゲット。少し出遅れていた女性にも希望のアタリがきてイシモチが上がる。横浜方面では定番のゲストだ。もちろんアジもすぐにゲット、船中全員のえびす顔が撮れて私も取材成立である。

その後もここでしばらく釣り続けお土産をキープ。アタリが途切れたわけではないが10時ごろ新たなポイントへ移動となった。

あるから油断ならない。慎重にヤリトリして上がつてきたのは、なんと1キロオーバーのクロダイ。最近よく登場するうれしいゲストである。隣の方が「次は俺の番だな」と言ったら、驚いたことに本当にきた。それも2キロオーバーの良型。まさかこんなに連発するとは。

ハイライトはこれで終わりじゃなかった。右舷に陣取る6人のうち5人の方にクロダイが次つぎヒットして、さらに紅一点の左舷のベテランが2キロ級を上げた。

「狙って釣りました！」と満面のえびす顔。いやあうたまげたものだ。

午後2時に沖揚がり。結局、アジは安定してアタリが続き、



▲沖揚がり間際に上がった2キロオーバーのクロダイ

**船宿information**

東京湾奥葛西橋  
**第二泉水**  
☎03-3645-2058  
(詳細は巻末の情報欄参照)

▶料金=ライトアジ乗合一9700円  
(付けエサ、コマセ、水付き)、女性・子供割あり  
▶備考=7時出船。別船はカワハギ、タチウオへも

小倉 裕士船長

20〜31センチが4〜45尾の釣果。ゲストも多彩で先のベテラン女性もアジ、イシモチ、カサゴ、タコ、サバ、クロダイと六目に到達。

ちなみにクロダイが船中9枚を数えたのはビックリである。新しい年もまた、東京湾にはおいしい魚が待っていますぞ!



▲貸し竿でライトアジ初挑戦のグループもアジの引きを楽しんだ  
▼25センチ前後の食べごろサイズがアベレージ



各自がクーラーを船に運び、全員がそろったところで定刻7時になり河岸払い。当日は右舷にベテラン組が6名、左舷には貸し竿5人組と常連客のお二人が並び総勢13名。

東京湾のライトアジ船は、目下千葉県側の木更津沖と神奈川県側の川崎、横浜、本牧沖一帯に釣り場が分かれるが、良型にこだわりの持つ小倉裕士船長が最初に選んだのは航程50分ほどの横浜沖。湾奥のライトアジ船の定番スポットの一つだ。

冬の寒さに身が縮まり一段とおいしさが増してきた東京湾のアジ。黄金色に輝くボディは脂がたっぷり乗った証。クーラーの中が眩しく見えるのは私だけではないだろう。ライトアジは本来ならそろそろシーズンオフになる時期だが、最近では厳冬期でも釣果

が期待できて人気も衰えない。12月11日、東京湾奥葛西橋の第二泉水へと出かけてきた。電車でのアクセスも便利な船宿だが、それ以上にアジを釣らせることで知られていて人気を集めている。

午前6時ちよい過ぎに宿に到着。あいさつもそこそこ

船に乗り込んだが、常連さんと思しき方がたはすでに道具の準備が終わって出船を待ちわびている様子。

ほどなく皆さんのクーラーが到着。船宿から船着き場まで少し歩くので、クーラーなど重たい荷物は車で運んでくれるのがありがたい。たくさん釣ってクーラーが重たくなってもノープロブレムである。

**良型ラッシュ**

船がスローになり、すぐ釣り開始の合図が出た。水深は20メートル前後と初心者でも安心の浅場である。

アジ釣りはコマセに魚が集まってきたから勝負だからとキャビンでゆっくりにカメラの準備をしていったところ、

「今いい型のアジが釣れるから、早いうちに写真撮っちゃったほうがいいよ」と船長が呼びに来てくれた。

エッ! もう釣れちゃっているの? と半信半疑の私。急いでカメラを持って船上に出ると、な

# 寒さも忘れる釣れっぴり ライトアジでえびす顔

●東京湾奥葛西橋発→横浜→本牧沖

**知得! Tips and Tricks アジのコツ**

ていねいなタナ取りが重要。タナはおおむね底から2メートル。底から1メートル上でコマセをまき、タナまで巻き上げてアタリを待つのが基本。海底は少なからず起伏があるので20〜30秒数えてアタリがなければ、再着底させてタナを取り直すことも大事。

▶カサコなど根魚が釣れたらタナを少し上げてみよう